

教育の特色

1. 他大学の「建築学科」と異なる内容

○自然学を幅広く学んだ上に建築学を学ぶカリキュラム

本専攻は自然環境と共生した居住環境の創造を目指していますので、まず自然学の学習が重要です。そこで、学部共通科目の「エコシステムを考える」「環境は資源」「地球環境科学」「基礎生態学」「水環境管理学」の他、生態・環境資源学専攻の専門科目の「森林生態学」「海洋生態学」「海洋資源学」などを選択できます。そして、自然認識を深めながら居住環境のあり方を考えます。

○木と福祉の文化を学びます。

自然と人にやさしい木の文化と利用を重視しています。特に、従来の建築学科にはない「木質構造学」を設け、木の利点と活用を考えます。また、「福祉住環境計画学」などの科目を設け、共生社会を考えた居住環境のあり方も追求しています。



熊本県立大学全景

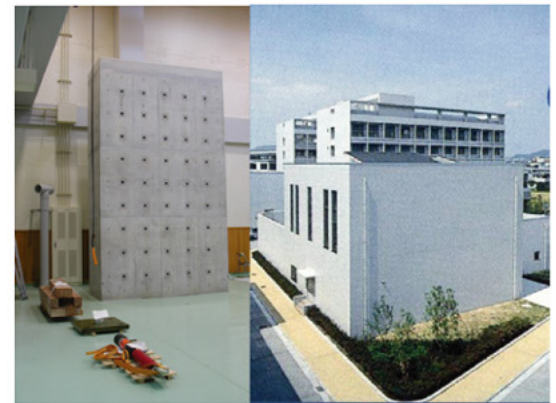
2. 実体験を重視した教育

○体験教育＝実験・演習・実習の重視

○建築・研修見学旅行の実施（2年次）

○フィールドワークの実施（1年次）

講義で得た知識を確認し、自ら考える力を高めるために多くの実験・演習・実習科目を設けています。更に、1年次ではフィールドワークを、2年次では関西方面への建築見学・研修旅行を実施して、学外で学ぶ機会も設けています。



構造実験棟

3. 高度で充実した設備・装置

○高度な木質構造に関する実験装置を備えた実験棟

○衛星写真や航空写真から住宅地図までを扱える環境画像システム

○人工的に様々な環境をつくり、制御することができる人工気候室

○一人1台の製図台（各学年に専用の製図室を確保）

○最先端の設備で、充実した内容のCAD教育

従来の建築学科にはない独自の教育プログラムを進めるために、高水準の機器や設備を導入しました。学生は、1年生から、他大学の大学院生が用いるような設備を利用した教育を受けています。



建築材料の強度試験

4. 少人数教育とユニークな科目構成

○少人数（1学年約40人）で、きめ細やかな教育

1学年約40人の学生の一人一人の「顔」をみて、個性に合わせた教育を行っています。特に、他大学の建築学科よりも、数多くの演習や実験、実習などで効果をあげています。

○進路に合わせた多様な履修コース

一級建築士の受験資格が得られるような履修モデルから、環境計画コンサルタント、構造設計事務所、設備設計事務所、さらには、行政機関へ進むための履修モデルまで、各人の適性と志望に応じて、数多くの選択肢が用意されています。また、大学院修士課程も平成15年4月開設を目指して準備中です。



フィールドワーク・実験実習風景

5. 一級建築士の受験資格

他大学の建築学科と同様に、卒業後、2年の実務経験を経て、一級建築士の受験資格を得ることができます。